

安芸地域アクションプランの進捗状況等について

H24. 8. 31

安芸地域本部

1 地域アクションプランの第1四半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（28項目）について、実行支援チームを編成し、支援及び進捗管理を実施した。

農業分野では、ナスに関しては生産者の勉強会を中心にした取組を行い、ユズに関しては今後の販路の拡大に向けた協議を行っている。

水産業分野では、民間事業者による安芸市でのシラスの加工場建設に向けた具体的な取組が始まった。

商工業分野では、安田町で地域産品の製造販売拠点である「安田（あんだ）と夢ファクトリー『キララ』」がオープンし、その他酒粕を活用した商品開発や販路の拡大に向けた動きが出てきている。

観光分野では、室戸ジオパークに関しては全国大会に向けた実行委員会の立上げ、中芸地区では民間主導の「中芸観光協議会」が立ち上がるなど、広域的な観光振興に向けた動きが始まっている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>二つの日本一を有する産地機能の維持・強化</p> <p>■No.1 ナス産地におけるまとまりづくりとブランド化の推進（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、芸西村）</p> <p>■No.2 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域園芸戦略推進会議まとまりづくりチーム会の開催 ・各地区反省会、現地検討会の開催（3ヶ所80農家参加） ・安芸集出荷場での営農相談の実施（3回192農家） ・土佐鷹普及推進協議会の開催とJA・園芸連・県で農家を個別に巡回（25園芸年度の作付予想面積は26.8haで前年度比92%） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鷹の更なる推進（特に安芸集出荷場管内のまとまりの形成） ⇒地域園芸戦略会議等を通じた系統率の向上 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新植改植の推進（栽培講習会の開催14回、発芽、開花調査、巡回による生育状況の把握を実施） ・将来にわたってユズ園を維持管理する仕組みづくりに向けた連絡会を開催（5回） ・販路開拓に向けた協議等を実施（県版HACCP導入への提案、青果輸出、殺菌装置導入） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ果汁の販売強化、青玉出荷率の向上、ユズ商品の販売拡大 ⇒第1四半期と同様な取組を継続

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>木質バイオマスの活用の促進</p> <p>■No. 8 木質バイオマス活用の促進(安芸市、芸西村)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレット原料（原木）のストックヤードの再整備 ・ペレット製造ラインの乾燥装置の改良、加水装置の追加を実施 ・ペレット原料（原木）の安定調達に向けた協議を実施 ・木質ペレットの需給見込み調査を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペレットの供給量の確保に向けた取組 ⇒11月を目途とした生産目標1,000トン達成に向けた設備等の改善 ・需給見込みを基にした木質バイオマスボイラーの新規導入 ⇒補助事業導入に向けた事業計画づくり
<p>水産物のブランド化への取組</p> <p>■No. 10 キンメダイのブランド化に向けた取組（室戸市、東洋町、奈半利町）</p> <p>■No. 11 水産加工の促進と販路の拡大（室戸市）</p> <p>■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の協議を実施（県補助金申請） ・県内外の量販店に対するPR活動を実施 ・冷凍フィレの地元での利用促進に関する協議を実施 ・「ぐるなび」を利用した販促活動の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化、販路の拡大、規格別にターゲットを絞った販促活動の展開 ⇒県外で実施される高知フェアを中心にPR活動を継続 ・冷凍加工品の開発と地元消費の拡大 ⇒ぐるなびで飲食店を対象としたPR活動の継続 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農商工連携事業について検討、計画が認定されたことにより、商品のパッケージや企画開発に着手 ・スチームコンベンションを導入し、塩麴を使った加熱商品、小売向け商品等の新商品を開発 ・県内外量販店に対する営業活動を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口で安定的な取引先の確保 ⇒既存商品の改善、新商品の開発への取組と営業活動の継続 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなシラス加工施設の整備に向けた協議（～5月） ・建設用地となる土地造成を開始（6月～8月） ・シラス加工施設の産振補助金交付決定（7月） ・加工場施設の設計等に着手（8月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設建設に向けた用地確保 ⇒土地造成（土地登記、土地占用許可を含む）の実施（県） ・加工原魚の確保に向けた取組 ⇒連携事業者である安芸西部機船船曳網連合会との協議を実施 ・商品力、販売力の強化と新たな販路確立 ⇒土佐まるごとアカデミーでの検討と首都圏でのPR活動

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>地域の1次産品等を活用した商品づくりと販路拡大</p> <p>■No. 3 ポンカンを活用した新商品の開発と販路の拡大（東洋町）</p> <p>■No. 4 「安田（あんた）の白い夢」の販路の拡大と新商品の開発（安田町）</p> <p>■No. 5 エディブルフラワーを活用した新商品の開発と販路の拡大（芸西村）</p> <p>■No. 6 白下糖の生産の拡大と新商品の開発（芸西村）</p> <p>■No. 14 酒粕等を活用した新商品の開発と販路の拡大（田野町、安田町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略の策定を行った（6月） ・大阪方面での営業活動（7月）に向けたチラシの作成 ・海洋深層水企業との連携による試作品づくりに着手 ・大阪の業務用酒販に対して営業活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売戦略に基づいた販路開拓 ⇒ターゲットに対する営業活動の促進 ・新商品の開発と生産体制の構築 ⇒新商品の検討 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田（あんた）と夢ファクトリー『キララ』オープン（6/3）し、店頭販売は概ね順調に推移している（9名雇用うち地元採用7名） ・新たな商品開発に着手 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入した製造機械での本格生産に向けた大口の販路開拓 ⇒地産外商公社等と連携した首都圏での商談の実施 ・原材料の安定確保に向けた仕組みづくり ⇒安芸地域全体を視野に入れた原材料の選定と調達方法の検討 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エディブルフラワーを活用した「お花ソルト」を開発、試験販売を実施（5月） ・かっぱ市を含めてんこす、空港など17店舗に納品中（8月現在） ・平成24年度高知県地域産品商談会へ参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花ソルト」のさらなる販路の確保 ⇒商談会、展示会への積極的な参加による認知度アップ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白下糖の販売、生産拡大のため検討会を実施（5月） （製糖組合、芸西村、県） ・現生産者に対するアンケート調査実施中 （作付面積、現況、今後の取組について） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の増加対策 ⇒生産量を増やすため生産者に対して、実施した生産者に対するアンケートの分析結果を踏まえた生産者等への働きかけ ・新商品の開発に向けた検討 ⇒地域内事業者等との連携 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の試作開発中 ・酒の実ヴィネグレットソースの商標登録（準備中） ・大阪うまいもん市等への出展 ・県内外への販路先確保に向けて交渉中 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採算ベースを確保するための売上増加やコスト低減対策 ⇒県内量販店等の取引先の確保に向けた営業活動

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>広域的に連携した観光の推進</p> <p>■No. 18 安芸地域における広域観光の振興（安芸地域全域）</p> <p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興（室戸市）</p> <p>■No. 21 岩崎弥太郎と地域食材を活用した観光の振興（安芸市）</p> <p>■No. 25 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの更なる掘り起こしを協議（安芸広域観光担当課長会） ・教育旅行の商品づくりを協議（高知東海岸体験観光協議会） ・安芸広域エリアキャンペーンの展開 ・県の観光アドバイザーによる研修会の実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な旅行商品の造成、体験メニューの充実 ⇒安芸広域全体での体験メニューの更なる掘り起こしと磨きあげ <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ジオパーク室戸大会（11/2～5）に向け実行委員会を設置（おもてなし部会、宿泊・交通部会、教育部会、ジオツアー一部会） ・子どもサマースクールの開催 ・ジオパーク関連施設の整備等に向けて観光補助金を申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークに関する更なる情報発信の強化 ⇒世界ネットワーク構築に向けた仕掛け ・県東部の観光拠点となる施設等の整備 ⇒基本構想の実現にむけて室戸市との協議 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸釜あげちりめん井楽会によるPR活動の展開（ご当地グルメ屋台村、宇佐大鍋まつりなど） ・まちあるきマップの作成（安芸市ボランティアガイドの会） ・体験メニューづくり（はばたけ弥太郎安芸市推進委員会） ・「てんこす」での安芸フェアの開催（7～8月） ・特設展示「弥太郎の生涯と志」の開催（7～2月：安芸市歴民館） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市の観光振興に向けた推進母体の育成 ⇒安芸市観光協会の機能の見直し ・地域食材を活用した新たな「ちりめん井」や加工品の開発 ⇒オンリーワンの「ちりめん井」の創作 <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開通100周年記念事業の内容を検討（県観光補助金交付決定 7/26） ・全国せまい線路サミット in 高知（11/4）（事例発表、ディスカッション、森林鉄道乗車等イベント） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林鉄道遺産の更なる情報発信の強化 ⇒全国の森林鉄道のネットワークづくり

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 28 世界に2つの「モネの庭」の誘客強化による交流人口の拡大（北川村）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘客イベントの開催（無料開放、ガーデンング教室、コンサート） ・開園時間の前倒し（10時→8:07に変更） ・経営改善の検討（経営コンサルタントに委託） ・広報活動の展開（メディア、高知空港、観光キャラバン） ・東部地域エリアキャンペーンに組み込み <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者増に向けた誘客対策 ⇒第1四半期の取組の更なるバージョンアップ ・営業体制の強化 ⇒北川村観光協会、中芸観光協議会と連携した多様な営業活動

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況（結果、成果等を含む）・課題と今後の対応
<p>■No. 7 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化（室戸市、東洋町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産事業体と生産体制（原木、生産、販売、雇用、研修生受け入れ等）について協議を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の共同購入や共同出荷体制の構築（室戸市） ⇒関係者での協議の場の設定 ・研修生の独立に向けた支援 ⇒独立に必要な窯等の経費等に対する支援策の検討
<p>■No. 20 イルカのふれあい体験による交流人口の拡大（室戸市）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業方針や宣伝PR方法を決定 ・ドルフィンセンターの機能充実に向けた検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる情報発信や施設整備による来場者増 ⇒とろむエリア全体の利活用策の検討
<p>■No. 24 中芸地区における広域観光の推進（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中芸観光協議会の設立（4/1 事務局職員2名雇用） ・事業計画の検討（中芸観光推進事業） （県観光補助金交付決定7/26） ・中芸観光ビジョン策定のための委員会設置（6/13） ・ホームページ作成に着手（6～8月） ・中芸観光スペシャルキャンペーン実行員会の立上げ（7/31） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、事業者、行政が協働する観光振興の展開 ⇒地域住民、事業者による観光ビジョンの策定
<p>■No. 27 安田中山地区の活性化プロジェクト（安田町）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の取り組みについて安田町と県で協議を実施（5月） ・地域団体役員等に県の中山間対策の説明を実施（5月） ・協議の場づくりに向けて各地区の代表者に説明を実施（6月） ・地域団体と具体的な協議開始（7月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの運営主体、外部人材の活用 ⇒市町村及び県と地域住民との協議の場の設定

2 平成24年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 12 加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上（安芸市）	・民間事業者がシラス加工業に参入し、安芸産シラスのブランド化と漁業者の所得の向上を図るため、シラス加工施設を整備する。	150,597 (50,000)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

・なし

4 県民参画に向けた取組

○土佐の産業おこし参加プラン募集の案内

・中芸地区商工会総会での説明

・安芸商工会議所での説明

・町村広報紙への掲載に向けた調整

（掲載：室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、北川村、芸西村）

・安芸ロータリークラブでの紹介

○産業振興計画シンポジウムへの参加案内

・地域アクションプラン事業者への案内（四国部品、大野倶楽部、安芸水産、JA土佐あき等）

・地域団体への案内（JA土佐あき、JA馬路、安芸商工会議所、中芸地区商工会等）

○商人塾受講への働きかけ

・安芸水産：玉沖クラス

・JA土佐あき女性部：白井クラス

5 相談案件

・なし